

■シーン4前半

こっちです、こっち。そう、この用具室の奥……

ここ、この時間なら誰も来ないんですよ。まだ、夏ってわけじゃないですけど空気こもって、ねっとりしてますね。

え、いつもの空き教室に行くんじゃないのかって？ えへへ、今日はちょっと場所を変えてみようかと、いつも同じ場所だとマンネリで飽きちゃうかもしれないし。

ええ！？ ここでは、まだ、オナってませんよ！？ ただ、候補としてちょっとよさそうだなーって……もうっ、何言わせるんですか！？

まあ、いいです。今日の体育の授業でちよつと思いついたので……ふふふ、服も授業できてたバスケのユニホームですよ！ 男子ってこういうの好きなんですよね？

ひゃい！？ そんな近くで匂い、汗の匂い嗅がないでください！？

や、結構汗かいてちよつてるから……え、キミも体育の授業が……いや、えつと、そこまでいやで……この前、それ以上のものを嗅がせて頂いたというか、ちよつと家でもおかずに思いついて……

うう、そうですね。もつと恥ずかしいこといっぱいしてきちゃったんです。

……え、ええと……私もキミの汗の匂いでスイッチ入っちゃった、かも。……あはは、わたしたちへんたいさんですね。

ええ！？ もつと近づいて……か、かいでみる？ って、だめです、これ以上は、は、恥ずかしい……

だから、今日はこの距離で、そのマットの上とベンチで……え、前より近い？ それは、まあ、狭いですし……しかたないです。もー、何笑ってるんですか！

……汗でお尻に張り付いた様子がエロいつて……パ、パンツはあんまり見ないで下さい。汗に濡れたお尻のテカリで又けるって……あー、ずるいですっ！ 先に始めないでくださいー

へ、上着？ おかずですか……くんくんっ。……男子の汗のにおい、汗臭いのにいけないことしてるみたいで、ふへへへ、なんか、汗臭いの好きになりそうです。

倉庫の中がお互いの汗のニオイでいっぱいになっちゃいそうですね。わ、わたしの汗の匂い、とか……どうですか？

今日は制汗スプレーとか使ってたから……用具室そんなに広くないし、私達の汗の臭いこもっちゃって……

あ、おちんちんにビンビンに来るぐらい……私のこども、もう、き、キミの匂いのせいでぐちゅぐちゅになっちゃってるよ？

ん、あ、まだ夏じゃないのに、ん、体ぼかばかで、ふあ、スンスン、顔真っ赤になっちゃって……ん、んん、汗以外にも……あ、ああ

んむつつ、ふっ、ふああ……あふっ、くう……くうっ、くうう、んっ！

んん、あ、おちんちんの匂い……ふふふ、あんなに濃かった汗の匂いが、すぐエッチな匂いに押されちゃって……んうっ、わたしもキミのおちんちんのエッチな匂い、おかずにさせてもらいますね。

はふ、ん、ふあ、……すんすん、男子のシャツの匂い嗅ぎながら……ん、んん。オナニ―するって、妄想しながら、あ、んん！ 自分の部屋でオナニ―したこと、あるけど……はひい、あん。男子の目の前でシャツうっに顔うずめて……あは、お股をいじって……すっごくこうふんしちゃいます、ね。

ほら、ん、バスケのユニホームの上からわかるぐらい乳首立っちゃって……おっきなときが、くうん。こりこりで、ふふ、キミのおちんちんもぴくぴくして気持ちよくなってくれてるんですね。

私も、もう何回もイっちゃってえ……んひい、お豆触っちゃっただけで、ぴっぴゅって……上も下もぐっちよぐちよでなんです……

やんっ……すっごい食いつき。ふふっ、そうですよ、こないだ、汗で透けたおっぱいにすごく興奮してみたんですし……はあっ。

ユニホームって、透けにくいのに、ひゃっん……汗、凄くてすぐ透けちゃうかも……ふふ、もちろんサービスでブラは外してきましたですよ？ あ。キミの目線、エッチすぎでドキドキが。

んっ、あんっ。私もこの間以来……んうっ、おっぱいするのは、好きになって、きちゃったみたい……です。

キミの影響ですね？ ふふっ、責任とって、きちんと私のオカズになってもらわないと……くんくん、ん。

ふはあ。すっごく濃い汗と、んくっ、おちんぼのいやらしいニオイ……

私のほうも、んっ、すごくいやらしいニオイ、する……？ やんっ、そんなこと、恥ずかしいけど、ちよつと……うれしい、です。い、いいんです、へんたいさんなんですから。それに、こういうこと言うのキミの前、だけですかな、ん。

あっ、あっ、いきなりそんなに……一生懸命になってしこしこして、そこは、ドキッとする、ところ、じゃ？

ひうんっ！ で、でも、わたしも、ああっ。このニオイで、はふうっ、すっごく興奮してるの……ふたりともドへんたいさん、ですね、んん。

んう……くんっ、くうんっ……キミの上着、私の汗とエッチなお汁でぐしょぐしょになっちゃったね。え、そのままでって、だめ、ん。は、恥ずかしいから洗って返します、よ。ん。え、帰ってからおかずに……し、しませんよ。たぶん……

はあっ……はあっ。あっ、やんっ！ でもお、んんっ！ これ好き、男の人に抱かれてるみたいで、ふああん、お汁止まらないの。

キミのほうも、すんっすんっ、ますますお汁溢れて、すっごくやらしいニオイさせて……

え、パンツ……パ、パンツはだめ!? 汗だくの私のパンツ、と、とか、え、わたしもキミのシャツに顔埋めて、ます、けどっ、パンツは恥ずかしすぎて……だめです。あ、あとで、ユニホーム、上着と交換ってことでえ……

後で洗って返してくれたらいいですから……でも、今は私を見て、私の匂いで、気持ちよくなつて……んんん くださいね

私も、はあっ、はあっ……こんなの、んう、クセになっちゃうの。男の子のえっちなニオイ、汗とおちんぼお、ちんぼの匂い、んふう、わたし、だめになっちゃうの

イイよね、このまま二人、一緒に……ああっ 一緒に気持ちよくなっちゃって、んうっ、イイ、よね?

んっ……んううっ! もっと、すうっ……もっと、嗅がせてキミのエッチなニオイ

んううっ! あっ ああっ! キミのんうっ! ニオイで、ああっ、私どんどんいっぱいになっちゃう……

ああっ……そんなに……ワンちゃんみたいに鼻を鳴らして、そんなに……激しくちんぼしこしこして……

私も……私のニオイ、そんなにえっち? そんなにいやらしいニオイさせてる? キミのオカズになるくらい、ああっ、いやらしいニオイさせちゃってる?

はあっ、はあっ。キミもすごいよお……キミのちんぼのにおい、んう……頭がくらくらして、イっちゃうたびに匂い覚えちゃう、の

んはう んん 鼻の奥から頭の中までエッチな匂いでいっぱい、くんう ふうん っ

あ、キミの大好きなおっぱいも……んふ 汗で透けて、ち、乳首の色も見えちゃってるね

あ、ああっ 私、見られて感じちゃうへんたいさんだから、んん いっぱい私をオカズに……っ、えっちな私で、んう おちんぼしこいて、んん いっぱいオナニー、して下さい!

ふあ、くんう……だめっ……だめえっ……私っ……んううっ!

……イくの止まらない! キミのニオイで……はあっ いっぱい、いっぱいイっちゃってるの!!!

キミも……キミのおちんぼの先からいやらしいお汁いっぱい溢れさせて、私の、匂いで、私のエッチなところ見ながら、ぎんぎんになったおちんちん、しこしこオナニーで精液たくさん射精するん、だね

ひうっ! んっ! おチンポの匂い濃くなって、あ、汗のにおいも負けてないけど、あ、あ 精液の臭い思い出してゾクゾク来ちゃうの!

うんっ! うんっ! 私も……私ももっとすごいの来るからあっ……キミのえっちなちんぼのニオイで発情してえっ……んうっ! もう、おまんこ、汗とお汁で水溜まり、でき

ちやつてるけど

……汗とちんぽのニオイで、すんる　はある！　キちゃう、どんどん匂い濃くなっちゃつて、汗だくオナニーで凄く高いのキちゃうるる……！！

ひう……くんっ　はあっ……はひ……ひう、んんんっるる……！！　精液どぶどぶ、んあある出してえ！

■シーン4後半

ああっ！ ひああんっ！ せいえき……んっ！ んうっ！ ああっ……びゅっびゅって出して……あ、ひゃあ、かかっちゃってる！？ わたしまで届いて、精液、熱いっ  
っ せいえきの匂いで、ふんうっ

このニオイいっ！ ひうっ！ あああっ！ 精液のニオイっ！ んううっ  
っ……！

ああっ！ あはあっ！ んああっ！ ああっ！ いくっ……イッちゃううう  
っ！ 精液のニオイ、んふうっ すぐく高くイっちゃうう！

んあっ あ、あ、あああ……！

……はあ、はあ、はふう……

精液、すんすん、ふああっ すぐくエッチな匂い……んっ いっぱいかかっちゃいまし  
た……足や手、あ、キミの上着にも……

ふわあ、初めて触っちゃいました……精液、どろどろの感触でっ はふうっ 精液の臭い  
のに癖になりそう……くん、とつてもえっちですっ

精液のニオイも、スン、キミの汗のニオイもずっと濃くなって、はあっ

ふあ、はふうっ やっぱり、凄いいニオイ……くんくんっ、はあうっ 頭の中トロけちゃ  
いそうですっ

はあ、はあ……ふー、んっ……暑すぎて、茹っちゃいましたね……でも、すぐく気持ち  
よかったです。

はあは、私、完全にヘンタイさんですね……普通のオナニーじゃ……満足できなくなっち  
やうかもお……くんうっ、んんっ

キミもクセになっちゃった？ ふふ、キミにも……私のニオイ、いーっぱい染み付いちゃ  
って、お互いおかずには困りませんねっ えへへ。

ヘンタイさんのオナとも同士、これからもよろしくお願いしますね。